

飛 翔

広島市立安佐中学校 生活だより

平成24年 1月 30日 No77

地域の方から・・・

～考えてください、あなたのマナー～



先日（26日）の「暮会」で、担任の先生が話されたことを覚えていますか？

アストラムライン毘沙門台駅下の階段側の細くなっている歩道で、自転車で通行中の方が、男子生徒の集団が来たので、自転車を止めてさげようとしたら、男子生徒3人が横に並んで道いっぱいに広がり、よけるそぶりもせず、肩をぶつけてきた。そのとき、薄笑いを浮かべていた。さらに、そばにいた別の生徒が「おい、さけるよ（生徒の名）」と含み笑いをしながら言っていた。

このような連絡を受けました。

そして、先日の「暮会」での話しになったわけです。



このことから、私たちが考えなければいけないことは何でしょう。まず、分かってほしいことは、「これは自分のことじゃないから関係ない」という思いを持たないでほしいということです。「他人事」と考えず、自分の行動、生活にいかしてほしいのです。

さて、このことの問題点は何でしょう？

まず、「道いっぱい広がって登下校している」ということ。

「そんなこと言っても狭い道だから・・・」

確かにそうかも知れませんが、狭いなら狭いなりに、譲り合って、周囲に気を配って歩行すべきでしょう。

「気を配るって言うてもうっかりすることも・・・」

確かにそうかも知れませんが、おしゃべりに夢中で自転車に気付かないことや、よけようとしても、とっさによけれないことも・・・でも、そこは「公道」。みんなが使う道であることをよく考えましょう。

「わざとじゃなく、ぶつかってしまうことも・・・」

確かにあるかも知れませんが、ぶつかってしまった直後の行動が大切でしょう。素直に謝る。きちんと謝る。それができていませんでした。

そして、仲間への注意が、「冷やかし」、「からかい」として受けとめられている。そのことも問題だと思えます。いや、「受けとめられている」わけではなく、本当に「冷やかし、からかい」の言葉だったのかも知れませんが、もし、そうであれば、もっと深刻な問題だと思えます。そのときに、そばにいた仲間がどのように行動していたかで、事態は変わってきたことでしょう。

「マナー」を守るということは

社会集団において、お互いが気持ちよく生活していく上で、「必要不可欠」なものです。

お互いが、「不愉快」な思いをせず、「気持ちよく」、「安全」に「安心」して生活していく上で、「マナー」はなくてはならないもの。大きな意味で、それは「ルール」と呼ばれ、ときには「法」となるのです。

今回は、たいへん残念な「連絡」でしたが、多くのみなさんは、「学校」だけではなく、「地域」という「社会」の中で、がんばってくれていると信じています。今回のような「仲間」の失敗を取り戻せるのも、また、その「仲間」なのです。胸を張って「安佐中学校の生徒です」と言えるような「安佐中学校」を創っていこうではありませんか。

がんばれ「2年生」～明日から「職場体験」

2年生のみなさんは、明日（31日）から、いよいよ「職場体験学習」の本番です。明日から「3日間」、学校を離れ、それぞれの事業所で活躍します。協力してくださっている事業所の方に対する感謝の気持ちを忘れずに、また「安佐中学校」の生徒としての自覚をしっかりと持って、元気にがんばって来てください。



がんばれ「3年生」～2月3日(金)は、 「公立選抜」「私立推薦入試」



今週末（2/3）には、「公立高校選抜」、「私立高校推薦入試」が予定されています。これを受ける3年生の人は、最後の仕上げの段階だと思いますが、まずは「健康第一」、BESTの体調でこそ、自分の実力が発揮できるというもの。「体」と「心」と「頭」の状態を整えて、しっかりとがんばってきてください。

不審者に関する情報



日時 : 平成24年 1月26日(木) 9:50頃
場所 : 安佐南区八木四丁目
内容 : 女子中学生が、登校中、階段を上がっていると、後方から男が「話しをしよう、時間ない？」と声をかけてきた。生徒は「学校があります。」と断り、小走りに学校へ向かった。男はしばらく後をつけてきたが、いなくなった。
特徴 : 30歳代後半の男、身長175cmくらい、茶髪、茶色い前歯、色黒の顔灰色の作業服のような服、つまようじをくわえている